

平成 31 年 3 月 15 日
第 5 回食育推進ネットワーク会議

若い世代の取り組みについて

今後(第 7 期にむけて)の検討について

1 第 6 期の活動について

第 6 期では、練馬区の 20 代～30 代の若い世代の食育について、この世代の食の現状が練馬区実態調査において国の調査に比べて欠食やバランスの取れていない食生活等の問題が大きいことを考え、若い世代に取り組む食育の検討を行うこととした。

【現状】

情報収集と試行的にイベントなどによる食育の開始

<情報収集>

①シェアハウスオーナーに若い世代に対するアプローチ法の意見を伺った

(10 代後半から 30 代までが生活をしている)

- ・学生を中心とした若い世代は、主催者が企画をしても興味を引く内容でなければ参加する確率は低い
- ・企画段階から参加募集を行い自分たちで作り上げるほうが良い
- ・参加人数は少なくとも若い世代には SNS 等で拡散するので少人数からとりくめばよい

②日大芸術学部教育課程学生の聞き取りについて

練馬区の食育の現状について調査来所した学生にどんな形であつたら食育に興味を持つか

- ・大学の授業の一つとして、食育を取り上げる
- ・大学学園祭で直接食育を行う

③大学教員・サークル等

- ・大学生は講義等の関係で食育活動に取り組むのは難しい

【試行】

イベント参加について今まで食育推進ハンドブックの普及、野菜の摂取量増加を目指して参加してきた。特に若い世代を企画して集めるのは難しいため、すでに若い世代が集まっているところで効果的に食育を行っていく方法を検討した。

盆マルシェに参加 参加者は子育て世代も多いので、和食文化を伝えることを目的として参加した。

健康フェスティバル・JAあおば農業祭 健康フェスティバルは豊島園が会場となり子育て世代の参加も多いため、和食文化・ちゃんごはんを伝えることを目的に参加した。

日本大学学園祭 豆つかみゲーム参加者に、はしの持ち方を伝えた

食育推進講演会 平成 29 年までは、「次の世代に伝えたい和食」をテーマにしてきたが、子育て世代をターゲットにした講演会の内容とした。(中学校栄養士との連携)

2 第 7 期に向けて

引き続き、イベント・講演会等で若い世代に直接食育を行う。

新しい取り組みとして

小中学校と連携した取り組み

大学のサークルやゼミ、教育課程関係者と連携した取り組み

等について情報収集しながら検討実施する。